

## 第 5 3 9 回 遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和 2 年 9 月 定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	2 番 那須 正幸  (一問一答)	<p>1. いま、必要な事やらなければならない事、その対策は</p> <p>2. 小規模事業者支援のプレミアム商品券、その周知と効果は</p>	<p>7月28日の大雨により最上川が氾濫、800棟を超える多くの地域が浸水被害に見舞われた。</p> <p>河口の酒田市では早めの避難指示が出され、多くの市民が学校などの施設に避難した。幸いにも我が町での被害はまぬがれたが、今起こりうる災害に備えたコロナウイルスに対応した行政と地域の合同避難訓練の開催と、それに対応する学校、施設等対応の避難所開設マニュアルなどの準備はできているのか伺う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として町独自のプレミアム商品券を発行した。全世帯へ滞りなく周知はできたのか。周知の仕方と購入世帯の状況を踏まえ、今後の販売方法とさらなる経済効果の展開を伺う。</p>
2	4 番 佐藤 光保  (一問一答)	<p>1. 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>2. 遊佐町沖洋上風力発電事業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度地方創生臨時交付金実施計画の状況</li> <li>・年度内及び来年度以降の方針と財源の見通し(特に農業、少人数学級、給食費無償化に関すること)</li> <li>・酒田市に保健所を復活するよう求めること</li> </ul> <p>・持続可能な開発目標SDGsにある気候変動対策の視点から客観性を伴う法定アセスメントを要する</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	<p style="text-align: center;">8 番 赤塚 英一  (一問一答)</p>	<p>1. 遊佐町のブランド戦略の考え方は</p>	<p>コロナ禍のなか、観光業をはじめ多くの業種に多大な影響を及ぼした。 そのなかで国は「GoToキャンペーン」を実施し、県や遊佐町でも関連したキャンペーンを実施してきたことで一定の効果はあったと思う。 しかし、新型コロナウイルスの影響が収束してきた時、どれだけ遊佐町に魅力を感じてもらえるかが、今後の町内の経済に大きく影響してくるのではないだろうか。 そのための総合的ブランド戦略をどのように考えているのか。 また、そのための体制をいかに構築していくのか、考えを伺う。</p>
4	<p style="text-align: center;">7 番 菅原 和幸  (一問一答)</p>	<p>1. 自然環境の保全には町民と一体となる施策も必要では</p>	<p>「遊佐町環境基本条例」の基本方針のひとつに、「高山、森林、里山、農地、海浜、河川及び湧水地域等における多様な自然環境の保全を図り、人と自然が健全に共生することのできる良好な環境を確保する」があり、特に鳥海山系の水源涵養機能の保全は重要である。 森林経営管理法では、森林所有者に適時の伐採、造林及び保育を実施するなどの経営管理を行うことを課し、市町村は、経営管理が円滑に行われるよう必要な措置を講ずるように努めるとしている。 本町の裾野の殆んどは民有林であり、世代間で引き継がれ現在に至っている。平成30年6月定例会の一般質問で「仮称・林業振興協議会」の設置を提案。答弁は「現段階では考えておりません。今後、森林整備状況及び所有者情報等を共有し森林整備の促進に向け、引き続き連携を深めたい。」との主旨であった。 本年3月には「所有山林に関する意向調査」も実施されているが、基金に積み立てられている現状にある「森林環境譲与税交付金」を活かす施策は検討されているか。 また、将来の世代に適切に継承する活動などは行っているか。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
5	5 番 齋藤 武  (一問一答)	1. 洋上風力発電事業、町民の関心を高めるために町はより積極的に役割を果たせ          2. 町内の条件不利農地のこれからをどう考えるか	<p>洋上風力発電の計画段階環境配慮書の縦覧が始まり、事業が具体的に動き出している。一方、町民の関心がそれほど高まっているようには感じられないが、もし事業が実現すれば町の沿岸の景観は一変する可能性がある。</p> <p>再生エネルギーの必要性は踏まえつつ、納得と合意に基づいて事業を進める必要があるのではないか。県が主導する一連の計画ではあるが、町民の関心が高まるよう、町はより積極的に役割を果たすべきだ。</p> <p>農業従事者の減少を農業機械の大型化や高性能化などで補ってきたが、中山間地や砂丘地では土地の条件の厳しい所が多く、補いきれていない。</p> <p>確かに中山間地域等直接支払制度により支えられている地域もあるが、それでも農業従事者の減少傾向は続くとみられ、苦しい状況が続く。</p> <p>こうした中、町としても改めて町内の条件不利農地の今後を検討すべきではないか。例えば、これまでタブー視されてきた林地化を真正面から取り上げたり、宅地への転用要件を見直すことも意味あることと考える。</p> <p>少なくともこれからは現状のまま維持することは現実的ではない。現実を直視して議論をし、対策を講ずるべきだ。</p>
6	6 番 松永 裕美  (一問一答)	1. 障がい福祉及び障がい児福祉と教育について	<p>○第5期(2018-2020)障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画における「日中一時支援事業」の現在の運営状況は。また障がい児支援の提供体制の整備等に係る目標4項目の達成状況を伺う。</p> <p>○療育手帳・精神手帳をおもちの御家族・御両親の皆様が気軽に語りあえる居場所作りとサポート体制も必要では。</p> <p>○令和5年小学校統合時の特別支援学級の更なる充実に向けての体制は。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	<p style="text-align: center;">6 番 松永 裕美  (一問一答)</p>	<p>2. 八ツ面川と周辺環境整備について</p>	<p>○1998年(平成10年度)事業完了の八ツ面川とその流域の維持管理は八ツ面川朝日堰流域水路管理組合の組合員の皆様とボランティアの皆様が行なって下さっているが、整備後の八ツ面川に架けてある現在の橋の数と今後の橋修復等の計画は。</p> <p>○京橋上流の桜並木は現在古木となり、かなり幹も弱ってきているが元町の景観も考慮し植え替えの計画は。</p> <p>○遊佐小総合学習で水辺の生物や植物を見て・ふれて学べる八ツ面川コースを取り入れた授業はとても重要だと考える。小学校統合後もこれを継続していくことも益々教育現場で必要になってくるとも思うがご所見を伺う。</p> <p>○水環境を整えた際に他の自治体から視察もあったと伺っている。これに関連して遊佐町の移住・定住施策を視察する為来町された自治体(議会)の数はここ7年ほどでの増減は、(市町村名も)伺う。</p>
7	<p style="text-align: center;">1 番 本間 知広  (一問一答)</p>	<p>1. 公共下水道の将来的なビジョンは</p>	<p>コロナウイルスの影響で経済のひっ迫が懸念される中、わが町においては、新遊佐小学校やPAT等の整備が予定されており、今後わが町の財政が心配される状況になってきた。</p> <p>これら予想される経費とは別に、現在町の会計において、公共下水道に毎年約3～4億円が一般会計より繰り出されている。これも財政を圧迫している要因となっており、今後なんとかこの「持出し」を少なくしていく方策を取っていかねばならないと考える。</p> <p>まずは接続率を上げて「収入」を増やすことが先決であると思うが、町の所見を伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
8	10番 高橋 冠治  (一問一答)	1. 新庁舎建設に関わる地元業者への事業量は	<p>現在新庁舎改築工事が進められているが、1次下請け業者等が、町外の会社のため町民からは、「町の業者にあまり仕事が回っていない」との話がある、本来、町の新庁舎建設にあたっては、町内業者への経済対策の一つでもあり、町内関係業者は期待していた。</p> <p>この状況で地元業者への一括発注は果たして機能しているのか伺う。</p>
		2. 本町の駐在所の統合計画について	<p>県は2018年度から3カ年にわたり県警察本部が推進している「交番駐在所整備計画」の一環として駐在所の統合を行っている。</p> <p>酒田警察署管内でも本年4月に川南地区の4か所の駐在所が統合されて一つの交番として整備された。</p> <p>地域の防犯の拠点となる駐在所が無くなる事には地域住民は不安であり大変心配している。町はどのように考えているのか伺う。</p>
9	11番 斎藤 弥志夫  (一問一答)	1. 買物支援サービス事業	<p>遊佐町社会福祉協議会の買物支援事業開始の根拠としては、他の社協と同様に高齢化により、一部地域で買物難民が顕在化している。買物支援サービスは高齢者対策として必要なもので、大いに前に進めるべきであるし、高齢者がますます増える現状では、なおさら必要不可欠です。</p> <p>買物支援サービス事業の現状と展望について伺う。</p>
		2. 西通川の草刈り	<p>草刈りの労力軽減と時間短縮、何よりも西通川の環境美化を図るために、マコモの処理対策と重機を使った土砂上げを実践してもらいたい。このことは西通川の草刈りに係わる皆さんに共通の認識です。昨年12月の一般質問と同じで、県の対応を再度確認して下さい。</p>
		3. ジオパークの展望	<p>ジオパーク構想が、中央官僚の補助金支給システムや地方の補助金獲得運動に利用されている。これでは一般人は愛想をつかしてジオパークに興味を持たない。これまでの4年間で遊佐町はジオパークにどれくらいの予算を投じたのか、費用対効果は十分だったのか、交流人口が増加するメリットはあったのかを伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
10	3番 佐藤 俊太郎	1. 交通事故防止 施策の現状につ いて	1. 交通安全意識高揚の為の具体的施策は 2. 道路交通環境整備の実施状況 3. 交通安全専門指導員の活動状況
	(一問一答)	2. 熱中症対策に ついて	1. 熱中症予防対策の具体的な施策 ①学校における施策 ②高齢者に対する施策